

平成29年度 事業計画書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

助成事業活動計画：

平成29年度 助成事業一覧

[単位：千円]

項目	H29年												H30年			備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
〔研究助成〕公1																
画像科学奨励賞（優秀賞）												4000	4,000	4件		
同												4500	4,500	9件		
同（連携賞）												1000	1,000			
《小計》	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9500	9,500			
〔学会助成〕公2																
日本写真学会		500											500	コニカミノルタ写真研究奨励金		
日本画像学会												550	550	日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励金		
日本光学会									500				500	光みらい奨励金		
日本医用画像工学会			500										500	大会奨励賞		
〔大学研究助成〕公4																
東京工芸大学 奨学助成金									1000				1,000			
《小計》	0	500	500	0	0	0	0	1500	0	0	0	550	3,050			
〔国際会議の助成〕公3																
Biomagnetic Sendai2017	300												300	5/22～24、仙台		
ICO-24			300										300	8/21～25、東京		
MOC'17					300								300	11/19～22、東京		
《小計》	300	0	300	0	300	0	0	0	0	0	0	0	900			
助成金合計	300	500	800	0	300	0	0	1500	0	0	0	10050	13,450			

1. 研究に対する助成（定款第4条第1項第4号）

- ・第24回コニカミノルタ画像科学奨励賞（計950万円；28年度実績850万円）

「光と画像領域での新たな挑戦」を基本テーマに、奨励賞（優秀賞）と奨励賞を28年度並みに計画しました。また、異分野の研究の融合によるイノベーション創出を期待して、異分野の複数の研究者が1ユニットとして応募できる連携賞を新たに計画しました。

奨励賞（優秀賞）	4件程度・助成金各100万円（400万円）
奨励賞	9件程度・助成金各50万円（450万円）
奨励賞（連携賞）	1件・助成金100万円（100万円）

2. 研究機関、学会及び研究会に対する助成（定款第4条第1項第2号）

1) 学会助成（計205万円；28年度実績255万円）

『光と画像』の領域を研究対象としている4学会へ研究助成を計画。今年から新たに助成希望のあった日本医用画像工学会を追加しました。医用画像は昨今注目を浴びているAIとディープラーニングの先端的研究を行っている分野です。また、当学会は医師系の学会ではなく学生の参加者が多いため、企業の支援に限りがあるとのこと。若手研究者の支援と事業拡大の観点から計画に追加しました。

(一社)日本写真学会	助成金：50万円、時期：5月、「コニカミノルタ写真研究奨励金」として1名に実施予定
(一社)日本画像学会	助成金：55万円、時期：3月、「日本画像学会コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励賞」として1名に実施予定
(一社)日本光学会	助成金：50万円、時期：11月、「コニカミノルタ光みらい奨励金」として計3名に実施予定
日本医用画像工学会	助成金：50万円、時期：6月 日本医用画像工学会大会にて学生会員育成を目指した「コニカミノルタ科学技術振興財団特別セッション」(仮)を実施予定

2) 大学研究助成 (計 100 万円 ; 28 年度実績 100 万円)

東京工芸大学は工学部・芸術学部の連携を推進しているユニークな大学です。工・芸を連携した同校の研究を当財団の主な対象領域である光と画像の応用分野と位置付けて、28年度並みに計画しました。

東京工芸大学	助成金：100万円、時期：11月、「コニカミノルタ科学技術振興財団研究奨励金」(50万円)として、工・芸両学部の優れた研究に2件の助成を行う(工・芸の共同研究を含む)
--------	---

3. 国際会議、シンポジウム及び研究集会の開催に対する助成 (定款第4条第1項第3号)

・国際会議の助成 (計 90 万円 ; 28 年度実績 119 万円)

画像・光学・医療・材料等の領域より、100名以上(目途)が参加する国際会議に助成することを基本にしています。公益法人化以降、国際会議への助成は3~4件としています。29年度は応募が3件あり、選考委員会で検討した結果、いずれも助成に値すると判断し、3件実施する方向で計画しました。

平成29年度助成先案	助成金額	国際会議の内容
第32回 日本生体磁気学会 (Biomagnetic Sendai 2017)	30万円	時期：平成29年5月22~24日 会場：仙台国際センター(宮城県仙台市) 参加人数：約600名(内、海外から約200名)
第24回 国際光学委員会総会 (ICO-24)	30万円	時期：平成29年8月21~25日 会場：京王プラザホテル(東京都新宿区) 参加人数：約1,100名(内、海外から約400名)
第22回 微小光学国際会議 (MOC' 17)	30万円	時期：平成29年11月19~22日 会場：東京大学生産技術研究所 コンベンションホール(東京都目黒区) 参加人数：約200名(内、海外から約70名)

4. 50周年事業計画（特定費用準備資金として400万円計上）

コニカミノルタ科学技術振興財団は平成28年12月に50年目を迎えました。その50周年記念事業として、記念シンポジウムを4連合会（日本画像学会、日本写真学会、日本印刷学会、画像電子学会）の協力のもと、平成29年6月20日に実施する方向で現在は準備を進めています。

1) 50周年記念シンポジウムの開催（計277万円）

名 称： コニカミノルタ科学技術振興財団50周年記念講演会
開催日時： 平成29年6月20日（火）
14：00～19：15（受付開始13：30）
開催場所： 一橋講堂（東京都千代田区）
協 力： 画像関連学会連合会（日本画像学会、日本写真学会、日本印刷学会、
画像電子学会）
参加費： 無料
定 員： 200名
内 容： 14：00～17：00 記念講演会
17：15～19：15 懇親会

2) 50周年記念誌の発行（計123万円）

形 態： A4サイズ、カラー、42ページ
部 数： 500部
主な内容： 財団の概要、理事長挨拶、祝辞、趣意書、財団の沿革、50周年記念座談会、
50周年記念シンポジウム講演概要、各公益事業の詳細、画像奨励賞の推移と
動向、画像奨励賞受賞者リスト、役員紹介、あとがき

以上